

【シェード付きスタンドの作り方】



【使用する型紙#】
 シェード布用 (⑥-1~4のうち
 どれか)
 プラ板用 (⑥-5)

 型紙の使い方が他のライトの
 場合と違いますので説明書に
 従ってください。

オーソドックスなスタイルのシェード付きスタンドです。
 左写真はシェード布の型紙⑥-1で作ったものですが、型紙によってシェードの形が変わるのでいろいろ作
 って比べてみてください(写真(18)を参照)。

《使用する材料》 (☆はパーツキットに入っているもの、★は自分で用意するもの)		
☆12V用麦球	☆ウッドビーズ(大)	☆しんちゅう線
☆スリーブ	☆プラ板	★ボンド
☆ゴムリング	☆シェード布	

<p>(1) 電球台作り</p> <p>麦球とコード接続部をおおっ ているカバーを剥き取りま す。(基本技法■5参照)</p>	<p>(2)</p> <p>麦球のコードをスリーブに通 します。</p>	<p>(3)</p> <p>しんちゅう線を 1.5 センチカ ットし、スリーブの下から差し 込んで補強します。</p>	<p>(4)</p> <p>ウッドビーズ(大)の側面から 底面に向けて、2ミリ径の穴を 開けます。</p>	<p>(5)</p> <p>(3)をウッドビーズに通しま す。しんちゅう線もビーズの 中に入れて下さい。</p>
---	---	---	---	--

<p>(6)</p> <p>コードを全部いったん下に出 したあと、横の孔に抜いてい きます。</p>	<p>(7)</p> <p>しんちゅう線でリングを作り (基本技法■9参照)、スリー プにはめて飾りにします。</p>	<p>(8) シェード布加工</p> <p>シェード布をカットします(基 本技法■7参照)。(写真は型紙 ⑥-1を使用)</p>	<p>(9)</p> <p>切り取ったシェード布の端(3 ミリ幅)にボンドをつけます。</p>	<p>(10)</p> <p>扇形の両端を接着してカサの 形にします。</p>
--	---	--	--	--

<p>(11) プラ板加工</p> <p>プラ板を 3 センチ角ぐらいに 切り、そのなるべく中央に事 務用パンチで孔を開けます。</p>	<p>(12)</p> <p>プラ板を円板の型紙⑥-5に重 ね、中心孔の位置を合わせて テープで留めます。</p>	<p>(13)</p> <p>シェード本体(10)のスズ径を 測り、それに合う大きさにプラ 板を切ります。</p>	<p>(14)</p> <p>プラ板をカットしたところ。ま わりは多少ギザギザでもかま いません。</p>	<p>(15)</p> <p>円板の中央の孔にゴムリング を先にはめておいて、それを スリーブの上からはめます。</p>
--	---	---	---	--

<p>(16)</p> <p>円板の縁にボンドをつけ、シ ェードのスズにはめ込むよう に接着します。</p>	<p>(17) 完成</p> <p>ボンドが乾いたら完成です。 12Vの電源につないで点灯さ せます。</p>	<p>(18) 型紙によるシェードの形の違い比較</p> <p>(左から順に、型紙⑥-1、2、3、4で作ったシェード) 型紙(扇型)の中心角の角度によって、出来上がったシェードの傾斜角 度が変わります。コンパスと分度器があればシェードの傾斜角を自由 に変えることができます。</p>	<p>(19) ゴムリングをはめるとき</p> <p>ゴムリングが入りにくいとき は、スリーブの上部(矢印部 分)を削って下さい。</p>
--	---	--	---